

平成 20 年（2008 年）12 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（１日目）

平成 20 年 12 月 10 日（水）

1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	久 高 将 光 (自民・無所属 連合)	1 都市計画行政について	(1) 首里北地区(石嶺地区)において進められている道路整備の進捗状況について 首里北地区においては、首里りうぼう前の石嶺線、県総合福祉センター前の石嶺福祉センター線、平良から大名へ至る県道 153 号線の整備事業が進められ、また、先日の沖縄県都市計画審議会では、汀良市営住宅前の県道 29 号線（那覇・北中城線）の拡幅変更に係る承認がなされたとの報道もあり、地区の基盤となる道路網が大きく変化しつつあるところである そこで、現在、首里北地区において進められている道路整備の進捗状況について伺う (2) 首里北地区(石嶺地区)の今後の道路整備について 現在進められている道路整備により、地区の南北方向については基盤が整ってくるものと思われるが、地区を東西方向に結ぶ道路は依然として弱いままである そこで、那覇市都市計画マスタープランで位置づけられている石嶺 37 号（城東小学校横）から平良石嶺南線（城北小学校横）へつながる道路の整備に向けた取り組み状況について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 文化財行政 について	山川樋川（ヒージャー）顕彰について 山川村のウブガーとしても知られた山川樋川は、1700 年ごろに作成されたという「首里古地図」に「樋川」と記され、随一の規模と水量を誇っていたと言われている 山川樋川の水は、村の人々の誕生から終焉までの人生とともに、日々の暮らしに欠くことのできないものであり、旧暦 9 月 9 日のウマーチヌウガンには、敬虔な祈りが捧げられている しかし、第 2 次世界大戦末期の沖縄戦と戦後の水害によってその姿を消してしまったのである そのような山川樋川をこのままにしておくことは、地域の歴史、文化を封印したままにしておくことに他ならないのである 地域の歴史を掘り起こし、歴史の育んだ文化を守り、継承することは、そこに生まれ、育ち、あるいは暮らす皆さんの誇りとなるべきものと考え 山川樋川の痕跡を後世に伝えるため、相応しい整備を行い、未永く顕彰したいと山川町自治会の皆さんも願っている そこで、このような意義に鑑み、「市民との協働のまちづくり」の観点から、山川町の皆さんとともに取り組める方策はないか、伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 20 年 12 月 10 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	前 田 千 尋 (日本共産党)	1 妊産婦健診の拡充について 2 子どもの医療費無料化の拡充について 3 国指定重要文化財・新垣家住宅の保存について	(1) 妊婦健診の果たしている役割について問う。経済的理由で不定期あるいは一度も健診を受けずに出産した事例は何件あるか。母子ともに安全な出産をするためにも妊婦健診 14 回が必要であり、すべて公費負担の自己負担なしで実施すべきである。経済的に苦しい妊婦も安心して出産できるように 1 日でも早く実現すべきであると考えているが、当局の見解を問う (2) 妊婦健診における腹部超音波検査(腹部エコー)の重要性について問う。妊婦健診の拡大にあたっては、検査項目に腹部超音波検査など必要な項目も公費負担すべきである。当局の見解を問う (3) 産後健診の重要性について問う。経済的に苦しい産婦の負担軽減のために公費負担で実施すべきではないか。当局の見解を問う 病院の窓口では経済的困窮・失業などで、子どもの医療費を払えずに我慢をさせて重症化している事例もある。子どもたちが安心して必要な医療が受けられるように、入院については中学校卒業まで、通院については対象年齢を順次拡大して、医療費を無料化していくべきである。また、窓口無料化(現物給付)を実現すべきである。当局の見解を問う (1) 国重要指定文化財・新垣家住宅の指定の経過とその意義について問う (2) 新垣家住宅等の現状は崩壊が進んでいる。国や県と連携して、国指定重要文化財の新垣家の保存を速やかに進めるべきではないか。当局の見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 公園管理行政について	那覇市中央公園の管理・運営について 中央公園周辺の民家に野球・ゴルフボールなどが飛び込み、さらに同公園からの砂塵の飛散により、周辺住民が大変困っており、その改善が求められている。当局は直ちに対応すべきではないか。当局の見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 20 年 12 月 10 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	屋 良 栄 作 (自民・無所属 連合)	ＩＴ有害サイ トから青少年を 保護する対策に ついて	インターネット上の「闇サイト」と総称される有害サイトを通じて、大麻、援助交際、自殺のやり方に関する情報が無防備に青少年の目に入り、悪影響をもたらしていると考えるが、当局はどのように認識し、対策を考えているのか伺う 特に携帯電話所持の低年齢化との因果関係も座視できないレベルまで大きくなっているように思えるが、フィルタリングサービスの有効性を含め見解を伺う また、学校においては学校裏サイトというネット上の掲示板がイジメの温床となっているようだが、教育委員会はどこまで把握しているのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 20 年 12 月 10 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	知 念 博 (自民・無所属 連合)	1 総務行政について	本給との二重支給に当たるとのことで、総務省から見直しを指摘されている特殊勤務手当について、本市も更なる見直しを図るべきと考えるが、取り組み状況について伺う これまで廃止された手当はどのようなものがあったか、今後見直す手当はどのようなものがあるか伺う
		2 入札制度について	入札価格については、最低制限価格を設定すべきと提案してきたが、実施状況と今後の取り組みについて伺う
		3 仮庁舎建設について	仮庁舎の建設工事発注の入札は、不調に終わったとの事だが、予算の見積りが甘かったのではないか、また議会棟を分離し民間施設をリースした方が安くつくと考えるが、検討はされたのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 20 年 12 月 10 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	唐 真 弘 安 (自由民主党・ 市民の会)	教育行政について	(１) 驚くべき数字である。沖縄県内の県立高校生の約 4 万人のうち、1,821 人が大麻等薬物の使用への誘いを受けていた。更に、薬物を使用しているのを見たことのある生徒も 707 人、使っている生徒の噂を聞いた者も 908 人に上る。最近の大麻問題汚染では、3 人の外国人力士が大麻を吸引し、日本相撲協会から解雇され、更には、慶応大学、法政大学、中央大学、関西大学、同志社大学、各々の学生による大麻使用がマスコミによって明らかにされ、特に関東学院大学のラグビー部では、12 人の部学生が吸引していたとのこと 勉強に励むべき大学校内で吸引、譲渡、売買している実態からすると大麻汚染が広く深く、浸透しているのではないかとと思われる ところで、こういうアンケート結果がある。薬物使用から回復した 100 人に聞いたところ約 3 割の 30 人が初めての使用は 14 歳、15 歳だったとのことである。本市の小中学生への大麻等の影響は今の所どうなのか、実情報告を願う (２) 近日中に県は、中学生にも大麻等のアンケートを取り調査する予定と聞くが、アンケートを見て対策をするという待ちの対応ではなく、小中生徒には、「大麻に手を出すことは、自殺を意味すること、自分で自分の命をたつこと」なんだという大麻に対する恐怖を覚える教育を直ちにに取り組むべきと提言するが、答弁を願う (３) 昨今、教育現場における「携帯電話」の問題が論議されているが、本市の場合どのような実情にあるか説明を願う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(4) 沖縄県においては、学力最下位を受けて、学力全国トップである秋田県へ視察研修教師を2人派遣するとのことであるが、本市の小中生徒の学力向上のため秋田市と話し合いの上、6カ月ぐらいの期間で視察研修教師を毎年数名派遣できないか提言する。また、本市の小中生徒たちの学力は、県全体での最下位のなかでどのような位置づけにあるか実情を報告願う 【答弁を求める者】 教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 20 年 12 月 10 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	宮 里 光 雄 (自民・無所属 連合)	1 自治会活動 について	(1) 本市の自治会の数と結成率は幾らか (2) 新規に自治会を結成するには、どのような要件を満たし、どのような手続きが必要なのか (3) 自治会に委託している本市事業の内容と予算は幾らあるのか (4) 来る12月21日に予定されている自治会一斉清掃に当局はどのような関わり方をするのか
		2 特定健診事業について	(1) 受診率の推移はどうなっているのか (2) 受診率向上を図るため今後どのような施策展開を考えているのか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 20 年 12 月 10 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	大 浜 安 史 (公 明 党)	1 学童保育について	学童保育の関係団体より 6 項目にわたる要請があったが、その対応について伺う
		2 教育行政について	(1) 全国から注目が集まっている「芝生鳥取方式」が学校・幼稚園・公園で広がっている。小学校の運動場に導入する考えはないか伺う (2) 平成21年度大名小学校校舎建設事業が予定されている。校舎建替えに伴い、地域学校連携施設の整備も必要と考えるが、今後の計画について伺う
		3 交通行政について	首里鳥堀町内にある母子生活支援センター「さくら」前への横断歩道の設置について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 20 年 12 月 10 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	清 水 磨 男 (民 主 党)	1 那覇市役所 庁舎の建て替 えについて 2 保安灯につ いて 3 那覇港湾施 設（那覇軍港） について 4 奥武山公園 の改修につい て	(１) 移転予定の市役所を建て替えとしたのは、厳しい財政状況及び急務の老朽化対策と伺っている。建て替えには第一期のみで約 69 億円、工事期間中の仮移転に約 7 億円が予定されているが、おもろまち移転の場合の建設費用等は幾らだったのか (２) 現在地で建て替えることについて、見直しは考えていないということだが、計画通りに進展しているという認識でいいのか 保安灯は受益者負担という名の下に、自治会への補助金制度があるのみだが、自治会加入世帯は下降の一途をたどっており、平成20年度では3万世帯を下回って、全世帯の約22%にしか満たない。保安灯を市で整備する考えはないのか 那覇港湾施設の返還に関しては、浦添市の埠頭整備完了後と伺っている。しかし、1974 年の第 15 回日米安全保障協議委員会で全面返還に合意して以来、すでに 34 年が経過している。現浦添市長は移設推進で 2001 年に当選し、2003 年の第 4 回協議会では代替施設の位置・形状案が確認されている。それから 5 年以上が経過しているにもかかわらず進展しない現状について、那覇市の代表として浦添市や国に対して抗議や申し入れの意思は無いのか (１) 野球場の完成が目前だが、同時に「公式サッカー場の整備」と公約している。サッカー場と陸上競技場は異なるものだが、これまでの政策では混同されているように思われる。どのような計画を立てているのか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 「公式サッカー場」の公式とは、何に対しての公式であるのか (3) スポーツ政策をみる限り、「プロ野球の公式戦の実現」、「巨人軍の誘致」、「全日本チームの国際試合への万全な対策」と他所からの借り物の政策しか見られないが、地元のチームを育成するつもりはないのか 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 20 年 12 月 10 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	糸 数 昌 洋 (公 明 党)	1 「地域ふれあいデイサービス事業」の拡充について 2 牧志一丁目 3 番地区市街地再開発事業について 3 下水道行政について 4 三種 4 団地の廃止について	市長選公約の「地域ふれあいデイサービス事業」の拡充について伺う。次年度に向けた拡充計画と課題を伺う 事業の概要と本市の対応について伺う 国道330号沿いの楚辺 2 丁目40、41番地付近における下水道整備について、整備が遅れている理由及び今後の見通しについて伺う 三種 4 団地の用途廃止に伴い、住民の住替えや店舗の立ち退きが予定されているが、当局の対応について伺う (1) 住民説明会の実施状況と住民の皆様の意見や要望等を伺う。住民の理解は得られたと考えるか (2) 建替事業と廃止事業における入居者の移転等に係る対応について (3) 団地の廃止に伴う公設市場、店舗等の立ち退きについて、当局の対応を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長